

# ENGAGEMENT SESSION WITH JACTIM REGARDING PROPOSED NATIONAL HEALTH SCREENING MONTH

## 国民健康診断月間についての JACTIM との エンゲージメントセッション

2022 年 5 月 10 日

ロックダウンで顕在化した糖尿病、高血圧疾患などの増加傾向対策の為、職域接種ノウハウや MySejahtera の活用による MITI 主導による 7 月から予定の職域健康診断説明

**場所：**ウェブ開催(MITI 主催)

**出席：**

**MITI** Ms. Shireen, Director Industry Development Div.

Ms. Mazmen / Ms.Liyana 他

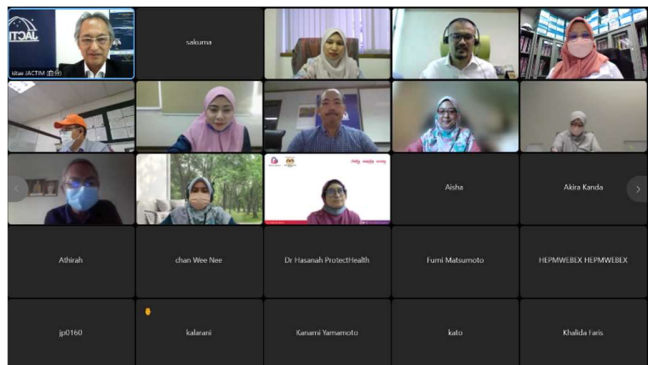
**MOH** Dr.Faizal, Dr. Nurhariza

**SOCSSO** Dr.Eidrin

**JACTIM** 50 社

### 1. 概要

・本年 3 月 22 日、4 月 11 日二回に亘って行われた MITI との職域健康診断実施プログラム打ち合わせに基づき、JACTIM 会員企業対象の詳細説明会



### 2. MITI オープニングスピーチ

・国民健康診断計画(National Health Screening initiatives)の目的は、健康に関するマレーシア人の認識と知識を高め、実際に定期的な健康診断をする国民の数を増やすこと

・その目的の為にステアリング委員会が設置され我々は主要メンバーとして産業界と連携して様々なプラットフォームでの国民医療の実施を話し合っている

### 3. 国民健康診断 2022 について (MOH・Protect Health・SOC SO)

・2016 年に政府および民間セクターで健康診断プログラムを実施したが未だ多くの人が血圧、血糖、コレステロールさへ未受診

・マレーシア人特にリスクある人々の間での健康志向とヘルスリテラシーは低い

・今までの健康診断はリスクの高い集団を対象としていない

・医療負担と治療効果の観点からも重要

・パンデミックの間、我々は COVID-19 のスクリーニング活動に気を取られており、一般健康診断数は半減していた(下記 MOH クリニックでの例)

Screening Services	2017	2018	2019	2020	2021
Health screening in MOH health clinics (inc. health camps)	890,937	1,001,677	972,693	326,564	355,645

・国民健康診断 2022 は 2022 年 7 月 22 日ペラ州からスタートし 2022 年 12 月まで行う (6 か月間)

・MySejahtera を活用してスクリーニングデータベースを確立させる

・対象と管轄

労働者→SOC SO/MITI

B40 人口→ProtectHealth

公務員→JPA

その他一般市民→政府の診療所と病院+民間の医療施設

・実施内容

(1. 問診)

(2. 基本) BMI と腹囲 / 血圧 / 血糖 / コレステロール / 喫煙状況

(3. オプショナル) メンタルヘルス / がん検診

3 週間以内に行われる 2 回目の診断は、必要に応じて行われる

・6 月の初めに、SOC SO 加入企業に対し、診断対象となる従業員のリストを含んだメール連絡が送られる

## 4. Q & A

Q.1 健康診断プログラムへの登録はどうするのか

A.2 事前登録をどのようにするか最終決定段階だが、いくつかの選択肢がある。

①会社がすでに既存の健康診断プログラムを持っているばあいは既存のものを利用すべき。

②2 つ目は資格のあり、会社が健康診断を提供していない場合は SOCSO 診療所などでスクリーニングを受けることができる

Q.2 外国人労働者は対象か

A.2 残念ながら当初の段階ではそれらをカバーしない。しかし現在健康診断プログラムのワークショップ内で具体プロセスを作っている。現在の該当法律の変更の為にしばらくの時間がかかるがそう先の話ではない。

Q.3 職域健康診断の場合、会社が場所を提供するのか

A.3 従業員に個別に行くように言うか、私たちに連絡しオンサイトスクリーニングを手配することもできる

Q.4 MySejahtera は何のために、またどの様に使うのか

A.4 保健省で最も使用されているものであるため、使用することを提案している。

また新しいプラットフォームを開発することなく、既存のプラットフォームが利用できる。このアプリを使用すると、ユーザーのデータ入力ですべての情報をキャプチャでき医者から別途手作業で収集する必要がなくなる。

アプリをアップグレードし、ユーザー自身が診断結果などを見ることができるようになる。更に健康診断施設で使用されるだけでなく、診断結果の更新も可能となる。

Q.5 会社は健康診断コストを負担するのか

A.5 実際に無料で提供され、参加するために何も支払う必要はない

Q.6 結腸直腸癌の結腸癌のスクリーニングはいらないか

A.6 結腸直腸癌が主要な可能性の 1 つである事理解しているが現在は計画にない